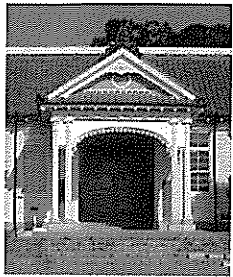


2007年号



# 伊賀の友垣

三重県立上野高等学校同窓会東京支部会報

18号

事務局

〒180-0003

武蔵野市吉祥寺南町3-18-10

吉岡進宅

TEL/FAX:0422(43)2686

発行人 吉岡進

発行年月日/平成19年10月1日

## 第12回東京支部総会・懇親会 盛大に開催

北泉優子さん(高7回)、吉村芳之さん(高16回)が講演

第12回を迎えた東京支部総会・懇親会は平成18年11月4日(土)、都ホテル東京・醍醐東と嵯峨東中の間で開かれた。郷里の上野から左橋佳三同窓会会長、上村桂一母校校長、本部同窓会事務局の福井亨教諭、および山本吉正名古屋支部長をお迎えし、支部会員124名が集い、盛大な会となった。

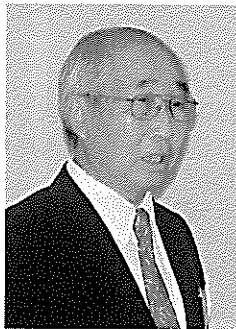
会は三部からなり、第一部総会では出口正尚(高22回)実行委員長の開会の辞で始まり、吉岡進(高3回)支部長の挨拶の後、議事に入り、事業報告、会計報告、監査報告があり、質疑の後、承認された。役員改選では、支部長は再度吉岡進さんをお願いする



ことを決めた。

今回から他の支部との交流を深めるための手始めとして、名古屋支部長に御出席頂いたことに感謝したい。

また、この総会・懇親会は上高22回、23回、24回卒を中心とした皆さんに幹事をお願いしましたが、ホテルの会場には、赤や黒の装束の忍者が出没するなど若い感性の溢れた会となりました。(中森)



吉岡進支部長



出口正尚実行委員長

第二部として、例年になく豪華なお二人、北泉優子さん(高7回)、吉村芳之さん(高16回)の講演がおこなわれました。

〔講演1〕 北泉優子さん  
「故里伊賀の新しい風」



私たち同期は優子さんと呼んでいる北泉優子さんは、上高時代は映画に夢中で、毎日のように映画館通いをしておられました。目的をしっかりと持って、時間さえあれば、一生懸命、シナリオを書いていらつしやいました。「ラジオ三重」のコンクールに入選されたりもし、この頃からシナリオライターへの頭角を覗かせていたように思われます。

上高卒業後は夢の実現に向けて上京され、NHKに入局されました。評論家の古谷綱武先生を尊敬されていたというようなお話もお聞きしました。上京後の彼女の筆は益々冴えて、かの有名な「忍ぶ糸」を世に送り出し、栗原小巻・加藤剛主演で映画化もされました。テレビのシナリオも数

多く書かれ、ドラマ化されたのもこの頃でした。私たちは御活躍をいつも楽しみにしていました。

執筆活動に精進されながらも、心の中にやすらぎを求めていらして、植木や花に毎日お水をあげるのを楽しみにされていました。またお暇のある時にはお会いしてスナックや、月丘夢路さんのお店にお誘い頂いたり、当時は新宿にあったフジテレビに行ったこともありました。楽しかった思い出の数々をひもといてみると、忘れかけていた青春が甦って来るようです。

彼女の執筆活動の根底に有るものは、伊賀の風土から生まれた、良い意味での「伊賀根性」で、それが格好の題材であったように思われます。現在は伊賀に帰り、伊賀に

中森 建夫 (高14回)  
辻 早百合 (高7回)  
山崎 良治 (高16回)  
出口 正尚 (高22回)

### 東京支部会費

(年額1,000円)

大切な支部運営資金でありますので、「伊賀の友垣」同封の振込用紙でお振込みください。

口座番号 ゆうちょ銀行  
00140-1-164093  
上野高校同窓会東京支部